

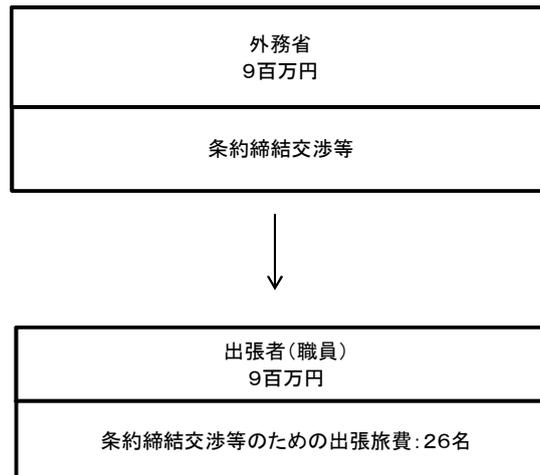
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	条約締結交渉等出張(海洋法諸問題等交渉)		担当部局庁	国際法局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	条約課		課長 道井 緑一郎		
会計区分	一般会計		施策名	II-5 国際法規の形成・発展に向けた取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第4項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中国、韓国との海洋法の諸問題に関する協議、日露平和条約締結交渉及び日朝正常化交渉等、また刑事関係条約締結交渉等重要な国際法上の問題に係る困難な交渉や条約締結に向けた交渉に参加する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	中国、韓国との海洋法の諸問題に関する協議、日露平和条約締結交渉及び日朝正常化交渉等、また刑事関係条約締結交渉等重要な国際法上の問題にかかわる困難な交渉や条約締結に向けた交渉に参加するために要する航空賃等旅費。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	11	12	11	9	9	
	執行額	9	2	9				
	執行率(%)	80	14.6	82.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	関係国との交渉・協議を続け、平成22年度は、日・タイ受刑者移送条約、日・EU刑事共助協定、日・露刑事共助条約、日・カザフスタン原子力協定、在日米軍駐留経費負担特別協定等が国会で承認された。	成果実績		国会提出条約件数	6	5	7	7
		達成度		%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成22年度は、東シナ海の油ガス田開発に関する国際約束に関する中国との協議、韓国、ベトナム、ヨルダン他との原子力協定締結交渉、豪との秘密保護協定に関する協議等、関係国との間で有意義な交渉・協議が行われた。	活動実績 (当初見込み)		出張件数	24	16	25	- (25)
		算出根拠			9,105千円 ÷ 25件 = 364千円			
単位当たりコスト	平成22年度の出張1件当たり経費 364千円							
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	航空賃等旅費	9314	8895					
	計	9314	8895					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	○関係国との間で有意義な交渉・協議が行われた。 ○航空券は基本的に格安のものを購入しており、これ以上の経費削減は困難。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業見直しによる減額		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業見直しによる減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.出張者(職員)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	日伯原子力協定締結交渉準備協議	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	日伯原子力協定締結交渉準備協議(ブラジリア)	1		
2	出張者B	日露原子力協議(モスクワ)	0.7		
3	出張者C	日トルコ原子力協力ワーキンググループ(アンカラ)	0.7		
4	出張者D	日南ア原子力協定締結交渉(ウィーン)	0.5		
5	出張者E	HNS審議官級協議(ワシントン)	0.4		
6	出張者F	日露刑事共助条約(モスクワ)	0.4		
7	出張者G	東シナ海に関する日中協議(北京)	0.4		
8	出張者H	日豪秘密保護協定に関する協議(キャンベラ)	0.4		
9	出張者I	ICAO外交協議(北京)	0.4		
10	出張者J	日伯原子力協定協議(ニューヨーク)	0.3		